

PETがん健診のご案内

PET

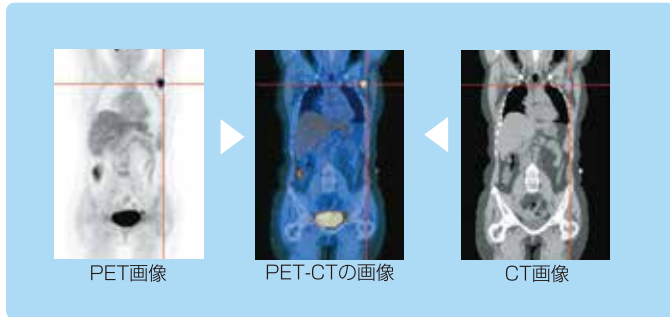
ⓅPositron ⓂEmission ⓉTomography



北九州病院グループ
一般財団法人西日本産業衛生会
北九州PET健診センター

PET検査とは

PET検査とは、正常細胞より数倍～数十倍ものブドウ糖を摂取するがん細胞の特性を利用した画期的な検査法です。ブドウ糖に似た微量の放射線を放出するポジトロン薬剤（FDG）を体内に注射し、ポジトロン薬剤が、がん細胞に集積する様子をPET装置で撮影し、画像化します。



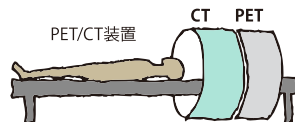
PET画像

PET-CTの画像

CT画像

PET/CT装置について

PET…細胞の活性度（代謝）を映し出す「機能画像」を得る
CT…位置、形、大きさなどを映し出す「形態画像」を得る
PET/CT装置とは、PETとCTが一体型となった装置で、一度の撮影で全身のPET画像とCT画像を得ることができます。精度の高い診断を行うことができます。



正常細胞

3倍～8倍

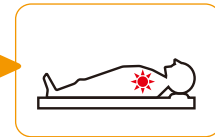


がん細胞

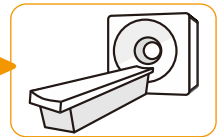
がん細胞は正常細胞の3～8倍ものブドウ糖を摂取します。



ブドウ糖に信号を出すポジトロンを出す。



ポジトロン薬剤を体内に注入。がん細胞にブドウ糖が集まる。



PET検査でポジトロン薬剤の信号をキャッチ。形に現れる前の小さながんを検出します。

是非このような方は、ご受診ください。

- 健康状態に不安がある方
- がん経験者（再発および転移の確認）
- がん家系の方
- 全身のがんチェックを受けたい方
- 喫煙者、元喫煙者
- 安心したい方

PET検査の特徴

- ☑ がん早期発見
- ☑ 苦痛がない
- ☑ 短時間（3～4時間）

がん発見症例

肺がん 64歳（女性）

自覚症状… 特になし（喫煙歴なし）

PET-CT 所見

PET画像で右肺にFDG薬剤の異常集積を認め、医療機関へ紹介となった。

医療機関での精密検査の結果“肺がん（腺がん）”と診断される。

その後、呼吸器外科にて右肺上葉部を切除。

他臓器への転移やリンパ節転移もなく予後は良好である。



肺がんがある位置の横断像です

PET画像でFDG薬剤が“がん”の病巣に集まっていることがわかります。



PET画像



CT画像

PET画像にCT画像を重ねることによって解剖学的位置を正確に知ることができます。



PET/CT融合画像

コース・検査項目表 (2023年4月1日より)

おすすめ

| 検査項目 | Aコース (基本) | Bコース (標準) | Jコース (総合) | Kコース (総合PLUS) |
|-----------------|--------------|--------------|--------------|------------------|
| 問診・血糖値確認 | ● | ● | ● | ● |
| 診察・結果説明 | ● | ● | ● | ● |
| PET-CT撮影(全身) | ● | ● | ● | ● |
| 腹部超音波検査 | ● | ● | ● | ● |
| 胸部CT検査 | | ● | ● | ● |
| 血液検査(一般・生化学) | | | ● | ● |
| 血液検査(腫瘍マーカー・肝炎) | | | ● | ● |
| 便潜血検査 | | | ● | ● |
| 尿検査 | | | ● | ● |
| 脳ドック検査 | | | | ● |
| LOX-index検査 | | | ● | ● |
| NT-proBNP検査 | | | ● | ● |
| 料金(税込) | 104,500円 | 115,500円 | 141,350円 | 166,650円 |

*PETがん健診と脳ドック検査は別日での受診になります。

*脳ドック検査実施医療機関は右記の通りです。①新小倉病院 ②製鉄記念八幡病院 ③北九州総合病院

PETがん健診の流れ(Jコースの場合)



LOX-index(ロックスインデックス)検査

脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを血液でチェックします!

脳梗塞・心筋梗塞の危険因子

- 高血圧症または血圧高め
- 脂質異常症
- 糖尿病または血糖値高め
- 肥満・肥満気味
- 脂っこい食事や塩辛い食事が好み
- 喫煙習慣(以前、吸っていた)
- 飲酒習慣
- 運動不足

NT-proBNP(エヌティープロビーエヌピー)検査

心臓の負担状態を血液検査で知ることができます

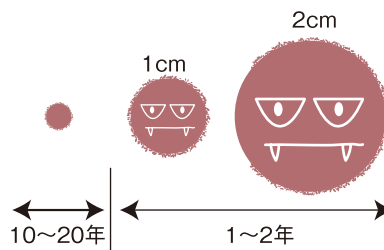
心疾患の危険因子

- 喫煙
- 高血圧
- 糖尿病
- 運動不足
- ストレス
- 家族に心臓病の人がいる
- 多量飲酒
- 腎疾患

がん検診の正しい知識 —早期に見つけるメリット—

早期に見つければがんは完治します

がんは不治の病ではありません。たとえば、進行した胃がんでは、半数以上の方が命を落としますが、早期であれば100%近く完治します。がん全体についても、早期がんの段階で治療を受ければ9割方が完治すると言えます。症状がないうちに、定期的に検査することが大事なのです。



がんは時間をかけて成長します

しかし早期がんのうちに発見できる時間は、たった1年~2年です。

**PETがん健診を
受診された方へ
お聞きしました。**



PETがん健診を受けられた理由は何ですか？
(複数回答あり)

- 第1位 安心したいから
- 第2位 PETが最先端だから
- 第3位 不安を解消したいから
- 第4位 PETは痛みのない検査なので
- 第5位 身近な人ががんになったので
- 第6位 父ががんだったので
- 第7位 60歳を過ぎたので
- 第8位 配偶者にすすめられたので
- 第9位 50歳を過ぎたので
- 第10位 母ががんだったので



駐車場
完備



北九州病院グループ
一般財団法人 西日本産業衛生会
北九州PET健診センター

〒803-0812 北九州市小倉北区室町3-1-2
TEL 093 (591) 2503 FAX 093 (591) 2586



〈PCサイト〉

北九州PET

検索